

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	蒲郡南地区	回数	第5回
日時	平成30年2月10日（日） 午後1時30分～午後4時30分		
会場	蒲郡中学校 図書室	参加者数	24名

※青字：第3回、第4回の意見

1. 将来の施設の配置としてふさわしいと考える案

A'案

市全体では人口が減少するという予測はあるので、公共施設の選択と集中は必要な議論だと思う。

- ・ 市全体では人口が減少していくという予測はあるし、公共施設の選択と集中は必要な議論だと思う。

南部小学校区・蒲郡駅周辺は、開発も進み、新築マンションも増えていることもあり、人口はこれからも増えることが予想される。どちらかに統合するのであれば、南部小学校を残した方が良いのではないかと。

- ・ 南部小学校区には新築マンションも増えており、人口はこれからも増えることが予測される。南部小か竹島小かどちらかに統合するというのであれば、南部小学校を残す方が、転入者にとって良いのではないだろうか。（それを見越して転入してきているかもしれない。）
- ・ 蒲郡駅周辺の開発が進み、今後も子どもの数の増加が予想される。南部小学校を残した方が、駅周辺の子どもが多い地域から距離的に近いから。

南部小学校の方が竹島小学校よりも敷地が広いため、小学校は、南部小学校に集合させた方が良さそう。

- ・ 南部小学校の方が敷地や運動場の面積が大きいため、こちらに集約した方が良い。

人口増加に伴い竹島小学校が新設された経緯がある。南部小学校の方が歴史があるので、統合するのであれば南部小学校に集合した方が良さそう。

- ・ 歴史的に南部小学校から竹島小学校が分かれたので、戻した方がしっくりくる。

竹島小学校の近くには西田川があり、浸水被害や地盤の脆弱さを懸念している。南部小学校に集合した方が良いと思う。

- ・ 竹島小学校の近くには西田川が流れており、浸水被害や地盤の脆弱さが懸念される。

小学校を南部小学校に集約することで、竹島小学校の敷地には、府相公民館や府相保育園

のほか、勤労福祉会館や生きがいセンター、図書館、集会所等のコミュニティ機能も集合させたい。

- ・ 竹島小学校の敷地に、勤労福祉会館や生きがいセンター、図書館などの機能を集約したい。
- ・ 竹島小学校の敷地に、府相公民館や府相保育園、さらに集会所などのコミュニティ機能を集約したい。

小学校と保育園の距離を近くすること以上に、質の高い保育環境を提供することの方が重要である。竹島小学校の方が南部小学校の敷地より広く、より良い保育環境を整備しやすいのであればA案が良いただろう。また、東部小学校、東部保育園敷地にも小学校、保育園、公民館、児童クラブの機能を集合させることで、新たな保育園が十分に整備できるのであれば、A'案の方が望ましいと思う。

- ・ 小学校と保育園の距離を近くすること以上に、質の高い保育環境を提供することの方が重要である。竹島小学校の跡地の方が土地が広く、よりよい保育環境を整備しやすいのであればA案が良い。東部小学校・東部保育園跡地にも新たな保育園が十分に整備できるなら、保育園と小学校が一体的に整備できるA'案の方が望ましい。

B'案

A'案になると、府相公民館が竹島小学校の敷地に移転する意味がなくなってしまう。他施設の再配置に先行して府相公民館を移転させることで、蒲郡南地区全体や他地区にとってのモデルになれば良いと話していた。そのような視点で考えるとB'案しかないのではないか。

- ・ A'案になると、なぜ府相公民館が竹島小学校の敷地に移転することになったのか、意味がなくなってしまうことだと思っている。そのような視点で考えるとB'案しかないのではないか。
- ・ 先行して一体化される竹島小学校と府相公民館の取組みは、今後、他の校区のモデル的な取組みとなりそうなので、ぜひ維持していくべきだと思うから。

府相保育園については、B'案は南部保育園の近隣に移すことで比較的早く移転が可能となる。A'案は、学校の建替え更新時期にあわせて整備することになるため、早くても10～15年後になるようだ。府相保育園を早急に安全な場所に移転させることを第一に考えた場合、B'案にするか、あるいは、これらの案とは別に考えて早急に移転を検討することが良いと思う。

- ・ B'案だと南部保育園の近隣に府相保育園を移すことで比較的早く移転が可能となり、A'案だと学校の建替え更新時期にあわせて保育園も整備するということで早くても10～15年後という説明があった。そうだとすれば、もうB'案にするしかないのではないか。あるいは、府相保育園は、これらの案とは別に早急に移転を検討するべきことだと思う。

- ・ 府相保育園の移転が、A'案よりも比較的スピーディーに対応できそうのため。

竹島小学校周辺の方が南部小学校よりも通学路の安全性が高いため、B'案の方が良い。

- ・ 南部小学校よりも通学路の安全性が高いから。

竹島小学校は蒲郡南地区の中央に位置するため、小学校、児童クラブ、公民館等の施設が配置されるにはバランスが良いと思う。

- ・ 竹島小は蒲郡南地区の中央部に位置し、小学校や児童クラブ、公民館などの施設の配置のバランスがよいから。

南部小学校は敷地面積が広く、駅からも近いことから他の用途に活用しやすいため、小学校等の施設は竹島小学校へ集合した方が良い。

- ・ 南部小学校は敷地面積が広く駅からも近いので、他の用途に活用しやすいから。

A'案、B'案共通

蒲郡南地区が人口減にならないとしても、変革という意味では小学校の統合を検討した方が良いのではないかと。市は、このままでは良くないのでワークショップを設定したのではないかと。

- ・ 人口減にならなかったとしても変革という意味では小学校の統合を検討した方がよいのではないかと。このままでは良くないということで、市もワークショップを設定したのではないかと。

蒲郡南地区は人口減少しない、あるいは減少の速度は遅いのかもかもしれないが、市全体で見ると、20~30年後は深刻な状況になることは、間違いではないと思う。自分たちの地区さえ良ければという考え方ではなく、市全体の課題として検討するべきだ。人口減少・少子化を前提として今から手を打つべきである。将来のコストを踏まえると小学校の統合はやむを得ないだろう。

- ・ 自分が子どもの頃、学校やその他の資料等で、「20~30年後の将来、人口が減り、この地区で働く場が減ってくるだろう」と出ていたことが、現実になっている。市の予測は、そう間違っていないのではないだろうか。蒲郡南地区だけで考えたら人口減少の速度は遅いのかもかもしれないが、市全体で考えると20~30年後は深刻な状況になることが予測されるから、このような場が設けられていると思う。自分たちの地区さえ良ければ、という考え方ではなく、市全体で検討した方が良い。そのような状況を踏まえると、今から手を打つべきであろう。
- ・ 30年後に予測のように人口が減少するならば、小学校の統合はやむを得ない。
- ・ 人口減少を迎えて子どもも減少することを前提として考えるべきであり、統合は避けられない。統合しないとコスト面のメリットが得られない。

蒲郡南地区はマンションが建ち、人口が増えている場所もあるようだが、一方で人口が減り元気がないエリアもある。特に東部地域では元気がある場所とない場所と濃淡が目立ってきているようだ。小学校を統合しない案が理想だが、人口が減った時に備えて統合することになった場合も視野に入れておいた方が良い。

- ・ 蒲郡南地区はマンションが建ち、人口が増えている場所もあると思うが、一方で人口が減って、元気がないエリアもあると思う。蒲郡南地区で見ても人口密度の濃淡は以前よりもあると思っている。思いではなく現実を見れば、その時に備えて今から小学校の統合のことは考えておいた方が良いと思う。
- ・ 東部地域は元気がある場所、ない場所と濃淡が目立ってきている。地域では、子どもが残らず出て行ってしまっていて人が減ったということも話している。現実を見ればそのようなことがあるので、D'案は理想ではあるが、いざという時に備えて小学校の統合をすることになった場合も視野に入れておいた方が良い。

小学校を統合する案が良いか、しない案が良いか、どちらがふさわしいかを検討するよりも、人口が減少し統合せざるを得ない場合に備えて、小学校統合案についての検討が必要はだろう。

- ・ 小学校を統合する案が良いか、しない案が良いか、どちらがふさわしいかという話し合いよりも、もし、市の予測通りになった時に備えて、小学校を統合する時のことも検討する必要はあるだろう。

南部小学校は伝統があって残したい、一方で竹島小学校は周辺の道路が安全というように意見も様々であり、現時点で、A'案かB'案かを定めることは難しい。

- ・ A'案か、B'案かは定めることが難しい。しいて言えば自分の母校を残すA'案を選ぶ。
- ・ 南部小は伝統があるので残したい。一方で竹島小は周辺道路が整って安全で便利である。

将来的に増加するであろう外国籍の子どもへの対応が必要になってくるなど、きめ細かい教育が一層求められてくると予想される。その時に、スケールメリットを生かして質の高い教育を提供できるようにするためにも、小学校の統合は必要だと思う。

- ・ 今後、例えば増加する外国籍の子どもへの対応が必要になってくるなど、子ども達へきめ細かい教育が一層求められてくると予想される。その時に、スケールメリットが発揮されて質の高い教育を提供できるようにするためにも、統合は必要だと思うから。

小学校を統合することでまとまった土地を生み出し、他の用途に有効活用できるようにした方が良い。

- ・ 統合することでまとまった土地を生み出し、他の用途に有効活用できるようにすべきである。
- ・ 将来、屋外プールが廃止されれば、今以上に統合や校舎の拡張などがしやすくなるか

ら。

D'案

蒲郡南地区は市の中心部でもあり、新たにマンションも建設されていて今後ますます利便性が高い街の中心部に人口は集中するだろうし、市としてもこの地区の人口減少が進まないように対策を講じるべきだ。南部小学校、竹島小学校ともに比較的児童数も多く、南部小学校は児童が増えているようだ。現時点で小学校の統合を考えるべきではない。

- ・ 蒲郡南地区は、市の中心部でもあるために人口減少は考えられない。少なくとも、他地区よりは減少速度はゆっくりのはずであり、また、市も人口減少をしないように対策を講じる地区ではないかと思う。そういう視点で考えると、小学校の統廃合は考えるべきではない。D'案が良いだろう。
- ・ 今後、高齢者はますます利便性が高い街の中心部に集中するだろう。マンションも建設されている。あえて統廃合を考える必要はない。
- ・ 人口が増えている実感もあるので、人口が増加する見込みもあるのではないか。現在の小学校はそのまま維持することが人口増加を目指していく上でも必要ではないか。
- ・ 南部小学校の児童が増える話も聞いているので、現時点で小学校を統合する必要性を感じない。
- ・ 南部小、竹島小ともに市内で比較的児童数が多い小学校だから、統合は納得できない。

現状の生活で満足している人は多いと思うし、災害時の水害もそこまで心配はしていない。この地区に人が越してくることは考えてよいが、人口が流出することは考えたくはない。

- ・ 現状の生活で満足している人は多いと思うし、災害時の水害もそこまで心配していない。この地区に人が越してくるということは考えても良いと思うが、出て行ってしまふことは考えたくはない。

将来負担の縮減だけを考えて、果たして住みよいまちになるのであろうか。市の中心部でもあることから明らかに他地区よりは人口減少の速度は遅い。統合をするにしても将来検討することで良いと思う。検討のタイミングが早すぎる。

- ・ 将来負担の縮減だけを考えて、果たして住みよいまちになるのであろうか。西浦地区やその周辺よりも明らかに人口減少の速度は遅い。統合をするにしても、今検討するべきではなく、もっと先で良いと思う。検討のタイミングが早すぎる。

南部小学校周辺は、児童館や保育園等の施設が充実しており、竹島小学校は、先行して府相公民館と機能を集合することに取り組んでいる。それぞれの小学校周辺でモデルケースを成立しようと頑張っている時に、あえて統合を検討する必要はない。

- ・ 南部小学校周辺は、児童館、保育園等周辺に施設が充実している。また竹島小学校は、府相公民館と機能を集合させるということが進められている。それぞれが小さなモデ

ルケースとして、成立しようと頑張っている時に、あえて統合を検討する必要はないと思う。

その小学校に通うことを前提に住む場所を決めたご家庭もあるだろう。また、小学校の統合は、学校区、すなわち地域コミュニティの変更が生じ、混乱してしまう。統廃合をこのワークショップで判断することは難しいと思う。

- ・ その小学校へ通うことを前提に住む場所を決めた人もいるので、急な統廃合は住民の理解を得にくい。
- ・ 小学校の同窓は地域コミュニティの基礎になる。分割や統合を頻繁に繰り返すべきでない。
- ・ 小学校の統廃合は、学校区、すなわち地域コミュニティの変更が生じ、三谷地区と同じような混乱が生じかねない。統廃合をこのワークショップで判断することは難しい。

小学校の統廃合については、当事者である保護者等の意向も大切なので、このワークショップだけで判断するのは難しい。

- ・ 小学校の統廃合については、当事者である保護者の意向を重視する必要がある。このワークショップでの判断は難しいと思う。

公共施設を3割削減することは理解できるが、それを理由に小学校の統廃合を決めるのは、良くないと思う。小学校や公民館は地域コミュニティにとっても重要な施設である。再配置を考えるならば、全市利用型施設など他の公共施設での削減策を検討するのが良いのではないか。

- ・ 公共施設を3割削減することは誰もが理解していることだが、それを理由に小学校の統廃合を決めるのは、良くないと思う。小学校や公民館は地域コミュニティにとっても重要な施設であり、再配置を考えるならば、全市利用型施設など他の公共施設での削減策を検討するのが良いのではないだろうか。

蒲郡南小学校と竹島小学校のどちらに統合されても、通学距離が2km以内で国の基準内であるとのことだが、2kmは小学校児童、特に低学年には遠い。統合によることによるデメリットはあると考えている。

- ・ 南部小学校と竹島小学校のどちらかに統合されても、2km内に収まっているという説明だったが、2kmは小学校児童、特に低学年には遠い。統合によることによるデメリットはあると考える。

保護者にとっては、小学校、児童クラブ、保育園はまとまって配置されていた方が、安心感があり、送迎面も効率的である。D'案が良いと思う。

- ・ 小学校（児童クラブ）と保育園は同じ場所にあった方が、保護者の送迎を考えると効率的という点でC案よりD'案の方がよい。

- ・ 働く母親にとって、小学校・保育園・児童館が機能的にまとまっていた方が子育てがしやすく便利な印象がある。
- ・ 子ども達も、保育園から小学校に上がるまで同じ場所で過ごせた方が安心感がある。

府相保育園の園児の多くが竹島小学校に通学するため、竹島小学校に府相保育園が集合する方が地域のつながりとしても違和感がない。

- ・ 府相保育園の園児の多くが竹島小学校に通うことを考えると、竹島小学校に府相保育園が複合化される方が地域のつながりとしても違和感がない。

南部小学校と地元の小江地区は、図書館開放などの取組みを通じて連携が深まっていて、高齢者と児童の交流が盛んである。世代間交流や高齢者の活躍の場がつかれるよう、地域に小学校を残したい。

- ・ 南部小学校と地元の小江地区が、図書館開放などの取組みを通じて連携が深まり、小学生と高齢者の交流が進んでいる。今後も、世代間交流や高齢者の活躍の場がつかれるように、なるべく地域に身近な場所に小学校を残したい。

小学校を統合する理由が理解できず、不明確である。

- ・ 小学校を統合する理由が十分に理解できず不明確であるから。

小学校を統廃合しないとLCC縮減の観点からも削減につながらないので妥当な案とは思えない。

- ・ 小学校を統廃合しないとLCC縮減の観点からも削減につながらないので妥当な案とは思えない。案として候補に挙げること自体がふさわしいとは思えない。

2. 各案について配慮すべきことや実施する上で注意すべきこと（付帯事項）

全体

■小学校の統廃合・再編について

小学校統合については、ワークショップでの意見だけでなく、学校-保護者-周辺地域の意見を聞いた上で進めるべきことであるが、単に意見を聞いて進めるのでは收拾がつかなくなるので、まずは、市が学校の適正配置や統合についての考え方を検討し、市民に示してほしい。

- ・ 小学校の統廃合については、まず、学校の施設配置の考え方、統合の考え方を市が市民に示した上で、検討に入るべきことだと思う。ワークショップの参加者だけで決めることでもない。
- ・ 統廃合については、ワークショップでの意見だけでなく、学校、保護者、周辺地域の意見を十分に聞いた上で進めるべきことだが、ただ意見を聞いていると收拾がつかなくなる。きちんお市の方針を示し上で意見を聴く機会を設けてほしい。

小学校を統合することになった場合は、三谷の一部、新井形町、府相の一部など、学校区と行政区との不整合を一致するように検討してほしい。また、隣接している三谷小学校、中央小学校なども含めて統廃合や学校区の再編を検討してほしい。

- ・ 再度検討する際には、隣接地域の三谷小や中央小なども含めて統廃合を検討すべき。
- ・ やむを得ず小学校を統廃合するならば、学校区と行政区（常会）との区域不整合が整合するよう一緒に検討してほしい。（三谷の一部、新井形町、府相の一部など）
- ・ 南部小学校と中央小学校は道路を隔てて校区が分けられている。小学校の統廃合を考えるならば、蒲郡南地区（南部小、竹島小、東部小）だけではなく、中央小学校なども含めて校区の再編を考える方がよい。

小学校統合については、南部小学校や竹島小学校の建替え時期が近づいた時、あるいは児童数が減少した時やPTA等の当事者から要望が出た時に検討すればよいのではないか。

- ・ 今後、南部小や竹島小の建て替えの時期が近づいた時に、または児童減少がもう少し進んできた時に、その時の最新状況や予測を踏まえて、もう一度検討するのが望ましい。
- ・ 小学校の統廃合を考えるタイミングは、PTAや子どもなど当事者から要望が出てきたときに考えるのが良いのではないだろうか。
- ・ 南部小、竹島小地区は、人口が減少しない可能性もあるし、市の報告では30年後でも12クラスが維持できる予測になっている。12クラスが維持できる見込みがある期間は統合をしないで現状維持でもよいと思う。

小学校の統合や適切な児童数等は、学校の教員が判断するのが良いのではないか。

- ・ 1クラスの児童数の妥当性は担当している教員が判断するのがよい。統廃合も学校の先生方が判断するのが良いのではないだろうか。現在の35人学級も良いし、20人位でも余裕をもって教えられている印象がある。今後、少人数学級の運営を考えるならば、1クラス35人学級という統合の判断基準も変わってくると考える。

今は統廃合の必要性は感じないが、将来的には人口減少が予測どおりになるのであれば、将来の統廃合はやむを得ないと思う。

- ・ 今は統廃合の必要性を感じないけれど、将来的な人口減少（児童減少）が予測どおりになるならば将来の統廃合はやむを得ないと思う。

小学校を統合することになった場合は、仮校舎、仮の校庭等について併せて検討してほしい。暫定の校舎、校庭も児童が伸び伸び学校で過ごせるよう、基準を守って進めてほしい。

- ・ 小学校の統廃合をすることになった場合は、仮校舎、仮の校庭等のことも併せて検討してほしい。暫定の校舎、校庭も児童が伸び伸び学校で過ごせるよう、基準を守って進めてほしい。

小学校を統合することになった場合は、その時各学校に通学している児童が、途中で転校することなどで負担がかからぬよう、児童たちの教育を第一に考え、学校-保護者-児童の意見を尊重して取り組んでほしい。

- ・ どちらかの小学校に統合することになった場合は、その時通学している児童が途中転校をするなどで負担がかからないように、学校、保護者、児童の声をききながら進めてほしい。
- ・ 小学校の統廃合については、現場の教職員の意見を尊重し、教育がしやすい環境づくりに配慮することが大切である。

統合することで、小学校までの通学距離が多少でも長くなるのであれば、特に1～2年生の低学年児童に対して防犯面や交通安全面の配慮が必要である。

- ・ 小学校までの通学距離が多少でも長くなるのであれば、1～2年生の低学年に対しては防犯面や交通安全面の配慮が必要である。

■施設の複合化について（機能の集合について）

市全体として大規模な施設の統合や統合に伴う跡地など、公共用地のバランスをみながら検討する必要がある。例えば、給食センター跡地など、使えそうな公共用地がある。それらを含めて一体的に考えるべきだろう。

- ・ 市全体としての大規模な施設の統廃合の考え方やバランスなどを優先して考慮する必要がある。
- ・ 給食センター跡地など他にも使える公共用地があり、それらを含めて一体的に考えるべき。

施設を集合する場合、災害時に備えて浸水の危険性や地盤など安全面への配慮をしてほしい。

- ・ 施設を統合する場合には、浸水の危険性や地盤など安全面への配慮が不可欠である。

施設を集合するのであれば、車いすの方や高齢者等の利用者がトイレや階段等の設備を安心・安全に使えるようにするとともに、施設の周辺道路の安全についても配慮して整備してほしい。

- ・ 車いすなど高齢者の方が安心・安全で使えるような施設の設計（トイレ、階段）や安全な移動のための道路整備など配慮してほしい。

複合化することで、さまざまな世代の交流が進むことは良いことだが、不特定多数の方々が自由に行き来できることで犯罪等が生じないようにしなければならない。設計等のハード面や運営等のソフト面の工夫で、地域性なども考慮し、施設ごとに防犯対策を検討してほしい。

- ・ いずれの案にしても、施設の複合化を考えるならば利用者の防犯面など安全を考慮する必要がある。
- ・ 施設の複合化を通じてお年寄りと若者の交流を促すことは大切だが、不特定多数の人が自由に行き来することで犯罪が生じないよう防犯面に配慮する必要がある。それがハード面での分断か運営などのソフト面での対策なのかはさまざまな方策があると思う。
- ・ 南部小学校は地域の方が児童と一緒に花壇や学校菜園の手入れをするなど、積極的に地域の方の学校訪問を受け入れており、地域への開放という方向に向かってるので、自由に行き来できる状態に制限をするのは逆行する。地域性なども考慮し、利用者の防犯・治安面での安全確保については、何がより良い状態なのかは施設ごとに考える必要がある。

施設を集合することで各施設の敷地面積が狭くなり、運用上の問題が生じないよう配慮してほしい。

- ・ 複合化によって各施設の敷地面積が狭くなり、運用に問題が生じないよう配慮する必要がある。

竹島小学校は府相公民館の複合化に伴い、調理室をこれまでの3階から1階に移して、公民館利用者も利用できるようにした。複合化により施設を共有し、より便利かつ効率的に施設を運用できるようにすることも考えていく必要がある。

- ・ 竹島小学校は府相公民館が複合化されることで、調理室をこれまでの3階から1階に移動することになり、公民館利用者も利用できるようになった。複合化することで施設を共有し、より効率的に施設を運用できるようにすることも考えていく必要がある。

■府相保育園をはじめとした保育園について

府相保育園は、0歳児から預かっていて災害時は保育士の対応が大変になるだろう。高潮による浸水想定区域でもあるので、他の施設にタイミングを合わせずとも、早急に安全な場所に移転してほしい。

- ・ 府相保育園は、高潮による浸水想定区域なので、早急に安全な場所に移転してほしい。このことは、公共施設の再編や今回の計画とタイミングをあわせずとも、早急に取り組むことだと思う。
- ・ 府相保育園は0歳児から預かっていて、保育士も大変な状況である。0歳児からいるために災害時は大変なことになるだろう。早急に安全な場所に移転するべきである。
- ・ どの案になるにしても、津波危険区域にある府相保育園と三谷西保育園の安全地域への移転は最優先に考えてほしい。
- ・ 府相保育園は、いずれの案になっても、できるだけ早く移転できるように努めてほしい。

保育園は身近な地域にあるべき施設だと思う。府相保育園と南部保育園を統合するべきではない。

- ・ 保育園は身近な地域にあるべき施設なので、府相保育園と南部保育園を統合するべきではない。

小学校や保育園の統合を行うならば、遠隔地にはスクールバスなどの送迎サポートを検討してほしい。特に障害のある子どもへのサポートは必要である。

- ・ 小学校や保育園の統廃合を行うならば、遠隔地には送迎サポート（スクールバスなど）を検討してほしい。特に障害のある子へのサポートは必要だと思う。

■公民館の考え方について

①地域での盛り上がり、④高齢者のにぎわいの視点で、今後、公民館がさらに活気づくように力を入れていくという方針は賛成だが、運営方法の工夫だけでなく、スタッフの人員面でのバックアップや施設の充実についても検討してほしい。

- ・ ①地域での盛り上がり、④高齢者のにぎわいの視点で、今後、公民館がさらに活気づくように力を入れていくという考え方は賛成だが、その分、スタッフたちへの人員面でのバックアップや施設の充実についてもきちんと市に検討してほしい。運営面だけで工夫と言われてしまうと、現在のスタッフばかりに負担がかかってしまう。

公民館は地域が主体となって運営できるかが重要である。立地よりもコストを重視し、統合を進めていけばよいのではないかと。

- ・ 公民館は立地場所以上に、地元が主体となって運営できるかどうか重要であるので、ハード的にはあくまでコストを重視して統合を進めていけばよいのではないかと。

高齢化とともに、今後ますます公民館のニーズは高まり多様化していくことが考えられる。既存施設も有効活用して、面積的にもゆとりのある施設を整備するべき。

- ・ 高齢化とともに、今後ますます公民館のニーズは高まり多様化していくことが考えられる。既存施設も有効活用して、面積的にもゆとりのある施設を整備するべき。

高齢者の居場所やいきがづくりの場として、高齢者が徒歩で行くことができるコミュニティ機能を果たす公民館の重要性は増してくるため、公民館の適正配置の考え方を市として検討する必要がある。また、コミュニティ機能としては各地域に集会所もあるので、公民館と集会所の機能や役割を整理し、それぞれの施設を有効活用していきたい。

- ・ 高齢者の居場所やいきがづくりの場として公民館の重要性は増してくるので、公民館の適正な配置の考え方を再検討してほしい。
- ・ 高齢者が歩いていける近所にコミュニティ機能が必要になってくるため、集会所の有効活用を考えると同時に、公民館との役割分担を見直す必要があるのではないかと。

- ・ 地域の連携拠点として公民館だけでなく、集会所もあるので、機能や役割を整理し、もっと活用していくのが良い。

■小江公民館について

小江公民館は地域への譲渡となっているが、地域側に十分な力も予算もないと思う。小江公民館が集会所になる場合は、市はどの程度地域負担がかかるのかを事前に地域住民に示し、市が地域住民を支援する体制を整えた上で取り組んでほしい。

- ・ 小江公民館は地域への譲渡となっているが、地域側に十分な力も予算もないので、譲渡への議論については行政が地域住民を支援する体制の下で進めていってほしい。
- ・ 小江公民館が集会所になる場合は、どの程度、地域負担がかかるのか市は示してあげてほしい。その上で、地域に判断してもらい、経費的に地域での運営が難しくなった時は、再度、市が相談に乗るくらいのことはしてあげてほしい。

小江公民館の今後のあり方については、ワークショップだけで方針を決めるのではなく、小江の地域住民の意向を大切にし、話し合っ決めてほしい。

- ・ 小江公民館については、譲渡を含め活用方法を地元地区と話し合っ決めてるのでよい。
- ・ 小江公民館は、府相公民館と一緒にしようと検討した際も断念した経緯がある。そのような背景があることを踏まえると、小江公民館の今後のあり方は、この場だけで方針を決めるのではなく、小江の地域住民の意向を大切にしてほしい。

A'案

南部小学校周辺は、道路が狭く、一方通行も多い。もし南部小学校に竹島小学校が統合するのであれば、周辺道路の拡幅をするなどして整備し、安全性と利便性を高めてほしい。

- ・ 南部小学校周辺は、道路が狭く、一方通行も多い。もし、南部小に竹島小が統合されるのであれば、道路整備をして、安全性と利便性を高めた上で進めてほしい。
- ・ 南部小学校の周辺道路は狭くて児童の通学に危険だし、南部保育園へ車送迎でも不便。災害時の避難所としても課題になる。南部小へ統合するならば周辺道路の拡幅整備が必要になる。
- ・ 南部小学校周辺の道路が狭くて危険という話が前回のワークショップで出されたことを受けて、住民側でも安全確認や危険個所のチェックを始めている。危険個所がある場合には、道路整備などを行ってほしい。
- ・ 周辺地域は通学路として危険な細い道路が多いので、通学路の安全確保のための道路整備が必要である。

児童クラブと保育園が一緒の場所にあることによる保護者の送迎のメリット生かす整備や運営が必要だろう。さらに児童クラブの運用の仕方でも保護者の送迎の負担を抑えることができないか検討してほしい。

- ・ 将来負担を考えると、小学校の統廃合も検討する必要があると思う。児童クラブと保

育園が一緒の場所にあった方が保護者の送迎のメリットがあるという点は配慮が必要だと思うので、児童クラブの運用の仕方でも保護者の送迎の負担を抑えることができな
いか検討していけばよいと思う。

D'案

竹島小学校の建て替えのタイミングまでは、府相保育園は移転しないということだが、早
急に移転できるよう努めてほしい。

- ・ 竹島小学校の建て替えのタイミングまで府相保育園の移転がないという話だが、でき
るだけ早急に移転できるよう努めてほしい。

3. その他（進め方など）

東部地域については、小学校、保育園、公民館、児童クラブの機能を集合することで問題
はない。

- ・ 東部地域については、小学校と保育園と公民館を統合することで問題はない。

評価項目の「キ」に“地域とのつながり”とあるが、小学校と公民館の距離だけで“地域
とのつながり”が向上したと評価できないのではないかと。地域住民が交流するきっかけの
ひとつにはなるかもしれないが、違和感ある。

- ・ 評価項目の「キ」は“地域とのつながり”とあるが、小学校と公民館の距離だけで“地
域とのつながり”が強化されたとは言えないのではないかと。地域住民が交流するきっ
かけの一つにはなるかもしれないが、違和感が残る。

今後の検討の進め方については、地域住民をはじめ市民に対して、検討プロセスや検討経
過などを丁寧に時間をかけて説明し、情報提供するとともに、小学校統合のメリット・デ
メリットなどについて学ぶ機会を設けることが必要である。

- ・ 地域住民をはじめ市民に対して、プロセスの段階から丁寧に時間をかけて検討経過な
どを情報提供するとともに、統廃合のメリット・デメリットなどについて学ぶ機会が
必要である。
- ・ 統廃合による跡地活用などのメリットも積極的にわかりやすく説明するべき。

行政として予算の裏付けをもっと精査する必要がある。

- ・ 行政としての予算の裏付けをもっと精査する必要がある。

公共施設を避難所として利用することを想定して災害時の施設の活用方法を地域と共有す
ることが必要だと思う。また、避難訓練などをしっかり実施していくことが大切である。

- ・ 公共施設を避難所としての利用すること、防災への対策については、地域とその活用
方法について共有することが必要だと思う。避難訓練などをしっかり実施していくこ
とが大切である。

<総括>

ワークショップではD'案に対する期待が最も大きく、次にA'案が期待を集めた。また、B'案を推す意見もあった。

小学校の統合については、意見が分かれ、当面は、一定の学校規模の維持が見込まれることや、現状の小学校を中心とした各地域のまとまりを保つべきという考えから統合すべきでないとする意見が多かった一方で、教育の質の確保や将来負担の縮減の観点から統合すべきという意見もあった。

統合すべきでないとする立場からも、今後の人口減少の度合いによっては、将来的に統合を再検討すべきという意見が多くあった。

また、津波・高潮浸水想定域に位置する府相保育園の早期移転が求められ、大きな論点となった。